かけはし vol.89

宇治武田病院
令和７年6月発行



特集

手術の体制をソフト・ハードともさらに充実
幅広く地域の期待に応えます

宇治武田病院 地域医療連携室

TEL：0774-25-2062（直通）
FAX：0774-25-2660（直通）

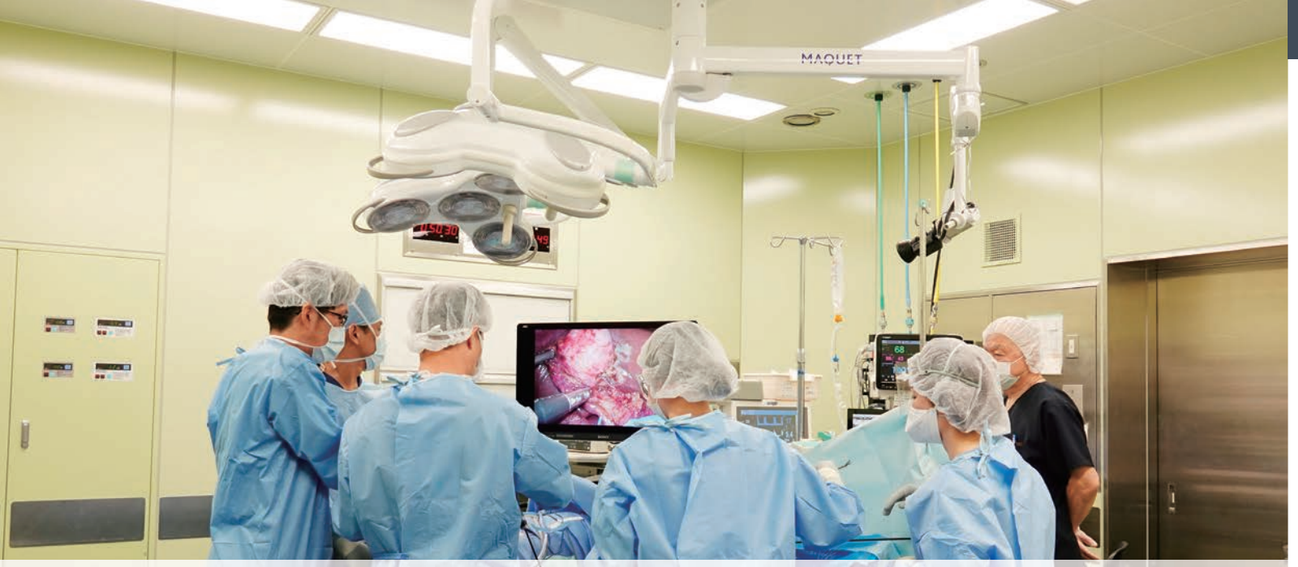
月曜日～金曜日／8：30～17：00
土曜日／8：30～12：45
※日曜日・祝日・年末年始はお休みさせていただいております。

ホームページはこちら▶

理念
・思いやりの心
・地域社会の信頼
・職員相互の信頼

基本方針
・ブリッジ・ザ・ギャップス
・患者さんの権利尊重
・信頼の医療に向けて
・地球にやさしい環境づくり

環境方針
・省資源・省エネルギーの推進
・廃棄物の３Ｒ（減らす、再使用、再資源化）の推進
・安全性・快適性の推進
・環境広報活動の推進



手術室特集

より低侵襲で安全・正確な手術をめざします

手術室は現在、常勤麻酔科医４名、看護師21名、臨床工学技士６名が勤務しています。2024年度の総手術件数は2764件（全身麻酔は1080件）で、緊急手術にも対応しています。整形外科・外科・形成外科・眼科・歯科口腔外科・泌尿器科・脳神経外科・耳鼻科・循環器内科・皮膚科の10科に対応しています。

整形外科

ほぼ全ての運動器疾患を対象

整形外科の特色は各疾患のエキスパートが存在している点です。金院長の小児整形、清水先生の膝関節外科、齋藤先生の低侵襲脊椎手術、河合先生の手関節鏡による靭帯再建術などがほぼ毎日執刀されています。小児整形では2024年に京都で初めての選択的脊髄後根切断術（SDR）が行われました。膝や股関節をはじめ、肩や指関節人工関節置換術は年間約300件行い年々増加傾向にあります。



Mako

ロボティックアーム支援で
より正確・安全な人工関節手術へ

2025年４月にストライカー社のMako（メイコー）を導入しました。これは、人工関節置換術用のロボティックアーム支援システムです。最大の特徴は、CT画像をもとに患者さんの形態に合わせた３D術前計画を作成し、手術のナビゲートを行うことです。治療計画から外れた角度や深さで骨を削ろうとしたり、人工関節を設置する角度がずれたりすると、動きを制御するなど、正確かつ安全な手術を支援します。



外科

腹腔鏡手術を積極的に導入

腹腔鏡システムをリニューアルし、良好な術野環境のもとで、安全かつ迅速さを心がけた手術を行っています。術前・術後の化学療法（抗がん剤による治療）や放射線治療などについても適応を検討するなどがんを総合的にとらえ、患者さんにとってより良い治療が行えるよう努めています。



眼科

見える喜び、確かな治療を

白内障手術

2024年度は638件で、眼内レンズも多焦点、単焦点ともさまざまな種類を扱っております。dataも光学式眼軸長測定器アルゴスを用いて測定し、そのdataをVERION image guided systemに載せて乱視を軽減し、より良い視力向上を目指しております。



緑内障手術

2024年度は81件で、istentやフック使用線維柱帯切開術のMIGS、トラベクレクトミー、プリザーフローマイクロシャントなどの術式を緑内障の程度に応じて選択して行っております

麻酔科

手術の侵襲を適切な薬剤で保護

当院は麻酔科認定病院であり、４名の麻酔専門医が全身麻酔を中心に年間約1000例の麻酔を安全に行っております。また鎮痛効果の高い硬膜外麻酔、神経ブロックも併用し、術後の痛みが少ない速やかな回復につなげています。

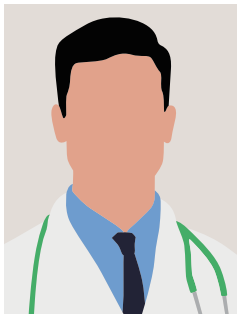


看護部

大切な人を託せる手術室へ

周術期を通して不安を抱えながら手術に臨む患者さんに寄り添い、安全・安楽な手術看護を目指しています。2025年４月から手術室看護師による術前外来を始めました。手術が決定した日から心身ともに準備ができ、安心して手術に臨めるよう多職種と協働して患者さんを支援しています。

新任ドクターのご紹介



耳鼻咽喉科部長
三浦 誠

資格・所属学会など

- 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会：耳鼻咽喉科専門医・専門研修指導医
- 日本耳科学会：耳科手術（暫定）指導医・認定医
- 日本めまい平衡医学会：専門会員・めまい相談医
- 日本気管食道科学会：気管食道科専門医（咽喉系）
- 日本聴覚医学会
- 日本頭頸部外科学会
- 耳鼻咽喉科臨床学会
- 医学博士



泌尿器科部長
矢野 公大

資格・所属学会など

- 医学博士
- 日本泌尿器科学会：専門医
- 日本泌尿器科内視鏡学会：腹腔鏡手術技術認定医



透析センター長／血液透析科部長
乾　恵美

資格・所属学会など

- 日本透析医学会：専門医・指導医
- 日本腎臓学会：専門医・指導医
- 日本泌尿器科学会：指導医
- 日本専門医機構認定：泌尿器科専門医
- 腎臓リハビリテーション指導士
- 日本糖尿病協会：糖尿病認定医
- 日本人間ドック・予防医療学会認定医
- 日本医師会：認定産業医
- 京都府立医科大学泌尿器科　客員講師

「顔の見える連携」を促進する 第１回 地域医療･介護交流会を開催

地域医療連携室副室長　鵜野明美

「地域を支える力になろう」をテーマに「第１回　地域医療・介護交流会」を開催しました（宇治武田病院地域医療連携室、ヴィラ鳳凰、宇治病院、老健志津川五和の園：共催）。会場の地域交流センター（京都認知症総合センター内）には、宇治市・近隣の医療機関、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所から、およそ40名もの方が参加しました。

交流会ではまず、宇治武田病院　地域医療連携室の取り組みと、最新の認知症ケアについての講演を行いました。続いて、宇治武田病院・宇治病院の退院支援困難事例をもとに意見交換しました。参加者からは、「多職種、他事業所とグループワークはとても貴重な機会です。あっという間の２時間でした」など、好評の声が聞かれました。

「継続は力なり」の精神でこれからも活動を続けていきたいと思います。

